

星のや竹富島（沖縄県・竹富島）

ウツグミの精神が育んだ島の豊かな暮らしを、現代に紡ぐリゾート

星のや竹富島

各施設が独創的なテーマで圧倒的非日常を提供する「星のや」。その3施設目として、2012年6月1日「星のや竹富島」は開業しました。コンセプトは「ウツグミ^{*1}の島に楽土」。木造平屋建ての客室をはじめ、白砂の小路や琉球石灰岩の石垣など、島の伝統を踏襲した集落景観に、南国の色鮮やかな草花が咲き誇ります。さらに島で親しまれる素材を活かした食事や、伝統文化に触れられる催し、安らぎに導くスパトリートメントなどを通して、ゆったりとした島時間を感じることができます。島の歴史や伝統を受け継ぎながら進化していく離島の集落に、暮らすように滞在できるリゾートです。

^{*1}「一致協力」を意味する島の言葉であり、島の方々が生きるうえで大切にしている基本精神のこと。



コンセプト「ウツグミの島に楽土」について

「ウツグミ」とは「一致協力」を意味する島言葉です。珊瑚礁が隆起してできた竹富島は山や川がないため土地が痩せており、島の方々は生きるために智恵を出し合い、協力することで暮らしを営んできました。そのなかで生まれた文化と美しい自然環境は、かけがえのない豊かさです。そんなウツグミの島にある「星のや竹富島」では、伝統的な集落景観での滞在に加え、島の魅力を活かした多彩な体験に夢中になり、島時間に心身を委ねることができます。非日常空間での癒しを提供するとともに、受け継がれてきた伝統や文化、自然環境を島の方々と協力して後世へ繋ぎ、関わる全ての方が幸福感に包まれるリゾートとなることを目指しています。

伝統を踏襲し、暮らすように滞在できる快適な客室

< 伝統を踏襲した建築 >

当施設の客室は、琉球赤瓦の屋根、琉球石灰岩を積んだ石垣、珊瑚の白砂が敷かれた庭、魔除けのヒンプン（母屋と門の間の垣根）など、竹富島の伝統的な様式を踏襲した建築です。また、屋根の上からは1棟ごとに表情が異なるシーサーが見守ります。さらに客室を囲む植栽にもこだわり、客室正面の鮮やかな樹木や草花だけでなく、裏手には風よけになるフクギを配置しています。これらは島の「景観形成マニュアル」に沿ったものです。まるで島の住民になったような心地で、暮らすように滞在できます。



< 南風（パイカジ）が通る「風の間」 >

幸せを運ぶと伝えられ、縁起の良い風とされる南風。あたたかな南風を迎え入れるため、すべての客室の南側に壁一面のガラス戸があります。反対の北側のガラス戸とともにすべて開放すれば、客室の中を風が通り抜ける設計です。このため、リビングである南の座は「風の間」と名付けました。一年中さまざまな風が吹く竹富島で、自然の風を受けて寛げます。



< 現代の快適性を備えた内装 >

全48棟の客室のうち、28室はフローリングの洋室、20室は畳敷きの和室です。すべての客室にデイベットがあり、うたたねをしたりのんびりと外を眺めたりして寛ぐことができます。水回りはリビングの続きにあり、特に、客室タイプ「ズーキ」「ガジョーニ」はモダンで開放的な風呂が特徴です。寝室は快眠を促すため、壁で囲うことで気持ちが落ち着くように造られています。伝統を踏襲した建築に、快適性を備えた居心地の良い空間です。



< 客室タイプ >

全3タイプの客室名は、すべて島で親しまれる樹木の名前です。

・ズーキ（ダイゴ）（洋室3名・庭を含む敷地 260～300㎡、客室 59～66㎡）
家族での滞在に最適な広さの家

・ガジョーニ（ガジュマル）（洋室2名・庭を含む敷地 260～300㎡、客室 59㎡）
開放的な浴室が特徴のモダンな家

・キャンギ（イヌマキ）（和室2名・庭を含む敷地 260～300㎡、客室 53㎡）
肌触りの良い琉球畳が敷かれた

ゆったりとした島時間に包まれて過ごせるエリア

ゆんたく*²ラウンジ

滞在中いつでも利用可能なラウンジは、壁一面のガラス戸に囲まれ、移り変わる外の景色を眺めながら寛げる場所です。ここでは、伝統文化の染織りに触れる体験や、作りたてのおやつを振る舞う「島のひととき」、オリジナルシロップと泡盛を組み合わせたカクテルを提供する「宵のひととき」など、島の文化を感じられるさまざまな催しを開催しています。そこかしこで「ゆんたく」が自然に生まれるような、明るい空間です。

*²竹富島の言葉で「おしゃべり」の意味。



プール

全長 46m の加温式プールは年間を通して 24 時間利用できます。楕円の形は自然豊かな風景に溶け込み、さらに床面は黒色のタイルを敷き詰めることで、水面に空の様子が映し出されます。中はすり鉢状のため、泳ぐだけでなく、浅瀬に座ったり足だけを浸けたりと、思い思いに楽しめる形です。視界を遮るものが無いため、日中は澄み渡った青空を、夜は満天の星を望み、自然を存分に感じて過ごせます。



見晴台

星のや竹富島の集落景観を一望できる場所です。海の傍にある小高い丘から、360 度の景色を見渡せます。たとえば朝日に煌めく海、南中の太陽を受けて映える赤瓦屋根の家並み、満天の星に包まれる静かな森と集落など、いつ訪れても異なる景色を楽しめます。



島時間スパ

スパ棟は客室が建ち並ぶエリアから少し離れた場所にあります。客室よりも背の高いグック（石垣）が囲い、プライベート感に包まれた特別な空間です。この場所で、環境に配慮した水溶性ジェルを用いたトリートメントを提供しています。手技に加え、島で親しまれる素材を混ぜた芳香用オイルの香りが、心身を安らかで静かな状態に整えます。トリートメント室から見える庭は、そうした心身の状態を表現したものです。



島の恵みを味わう食事

島ならではの食の魅力とフレンチが出合う「島テロワール」

竹富島を含む八重山の島々には、一般的に知られる南国の食材だけでなく、自然環境や歴史が育んだ島特有の食文化が多く存在しています。「鳴き声以外すべて食べる」と言われる豚や、祝いの席で振る舞われる山羊などの肉、医食同源^{*3}の考え方で用いられる野菜やハーブなどは、ここだけの食の魅力です。知られざる島ならではの品質な素材や受け継がれてきた文化を、フランス料理の技法と新たな発想を用いて、驚きの味わいに仕上げた美食。それが星のや竹富島が提案する「島テロワール」です。

^{*3}医薬品も食物も共に人間の生命を養い、健康を保つ上で欠くことができないもので、その源は同じであるという考え方



場所 ダイニング

時間 17:30～20:15（最終入店）

料金 1名 18,150円（税・サービス料込）

1日の活力が湧く「島人（しまんちゅ）の朝ごはん」

畑仕事に精を出す島人のように、朝から活力が湧く、島に馴染みある素材を取り入れた和食2種、洋食2種の全4種類の朝食を用意しています。和朝食は、沖縄で行事の際に振る舞われる、伝統的な重箱料理「ウサンミ」をアレンジした「島の九品（クヌシナ）朝食」と、独特の製法で作られるゆし豆腐を粥と合わせた「ゆし豆腐粥朝食」。洋朝食は、魚介の旨味が凝縮したブイヤベースがメインの「海風（ウミカジ）ブレイクファスト」と、島で親しまれた穀物を取り入れた「シリアルブレイクファスト」です。

このほか、この土地ならではの野菜や果物を用いたドリンクも取り揃えています。

場所 ダイニング

時間 7:00～9:30（最終入店）

料金 1名 4,961円
（税・サービス料込）



島の九品朝食



海風ブレイクファスト

総料理長 中洲達郎（なかす たつお）

1976年生まれ 東京都出身。国内有名レストランにて修行の後、軽井沢内のレストランにて副料理長、料理長を務めました。後に佐渡島に場所を移し、海の素材を扱い活躍。素材を最大限活かす料理を最も得意とします。2011年にはフランス料理界で最も権威ある大会「ボキューズ・ドール」国際料理コンクールにおいて日本代表、アジア代表として世界大会へ出場しました。星のや竹富島には、2012年の開業から携わっています。



島の自然や文化を感じる体験

島の自然を感じながら心身を整えたり、島ならではの文化体験に没頭したり、まるで島民になったかのような心地で過ごすことができます。以下はその一例です。

・よんなー*4深呼吸

日の出に合わせて、施設に隣接するアイヤル浜でおこなう「よんなー深呼吸」。朝一番の爽やかな海風を身体いっぱいを感じながら、始めはゆったりと、そして徐々に身体を目覚めさせる軽快な動きを取り入れたストレッチと深呼吸をします。

*4竹富島の言葉で「ゆっくり」の意味。

時間 毎日 6:20～7:30 の間、日の出に合わせて 30 分間

料金 無料



・ていんぬ*5深呼吸

満天の星や月の光の下、プールサイドの芝生でおこなう「ていんぬ深呼吸」。当施設は落ち着いた照明設計で、美しい夜空を堪能できます。夏には天の川がくっきり見えるほどの空を眺めながら、快眠に導くためのストレッチと深い深呼吸をおこないます。

*5竹富島の言葉で「天の」の意味。

時間 毎日 21:15～21:45

料金 無料



・織りあそび

竹富島伝統の織り機で、草木染めの糸を使った織りを体験します。島の植物で染めた糸は、柔らかく優しい色合いです。好きな色を選び、自分好みの作品を仕上げるすることができます。

時間 毎週火曜日、土曜日 10:30～ / 11:30～

料金 1名 3,025 円（税・サービス料込）



最終更新日：2024年9月25日



・夕暮れプライベートサバニ

伝統の木造船「サバニ」に乗って夕方の海へ漕ぎ出します。帆を張ったサバニは、エーク（櫂）で漕ぐ力と風だけで進みます。夕日に染まる美しい空と海を見ながら、島の自然を全身で感じられる体験です。

時間 日没を挟んだ約2時間

料金 1名 13,310円（税・サービス料込）



・朝の水牛車散歩

竹富島の1日は、白砂の道を掃き清めることから始まります。朝の美しい集落を星のや専用の水牛車でのんびりと巡るツアーです。

時間 毎週日曜日・火曜日・水曜日 8:30～9:30

料金 1名 3,800円（税・サービス料込）



・夕暮れ水牛車散歩

日帰りの観光客が島を離れ、本来の静けさを取り戻した集落を巡るツアー。夕日に照らされた集落を、三線の音色を聴きながらゆったりと回る贅沢な体験です。

時間 毎週水曜日 18:00～19:00

料金 1名 4,200円（税・サービス料込）



・島の唄い手と過ごすひととき（夜の資料館ツアー）

島の祭事芸能の音を担う島民と竹富島の資料館「喜宝院蒐集館」で竹富島の歴史や文化、人々の暮らしに触れます。竹富島出身の上勢頭立人（うえせと たつじん）氏が資料館を案内し、歌やユーモアを交えながら時には熱く島の魅力を語ります。ツアー後は上勢頭氏とゆんたくをしながら三線、泡盛と共に竹富島での忘れられない夜を過ごします



デザイナー

■建築設計 <自然と伝統・文化が息づく、竹富島の空気感を考えた設計>

東環境 建築研究所 東 利恵

まず着目したのは、この島に暮らす人びとが日常のなかで育んできた生活や信仰です。石垣で囲まれた赤い瓦屋根の木造家屋、白い砂の敷きつめられた道、信仰の場である御嶽（うたき）、数多くの祭礼、継承されつづけている歌や踊りといった竹富島の文化は、施設を設計する上でとても大切な要素であると考えたのです。そのうえで、こうした竹富島の文化に対する尊敬の思いを込めて設計にとりかかりました。島内の集落同様、石垣に囲まれ、1棟ずつ独立した客室には、白砂の庭、魔除けであるヒンプンを配置、赤瓦の屋根にはシーサーをあしらいました。雨端柱（あまはじばしら）が建つ南側、心地のよい影を作り出す大屋根下の空間、北側の風よけのためのフクギも、島の伝統に沿ったものなのです。ゆっくりとした時間の流れのなかで、風を楽しみながらご滞在いただけるような建築設計となっています。



■環境設計 <竹富島全体として、魅力を増していける起点になるために>

オンサイト計画設計事務所 長谷川 浩己

中世には、この辺りにも石壁に囲まれた空間が次々に奥へと連なる、グスク（城）形式の集落があったそうです。また、現存する家々は、1棟ずつがグックで囲まれ、島の中心で井桁状の集落を構成しています。伝統を活かし、島全体が持続的に魅力を増していけるよう、これら二つのパターンの組み合わせを基本としたランドスケープデザインを目指しました。星のや竹富島という新しい集落のランドスケープを考えたとき、竹富島の伝統に沿ってデザインすることは、島の風景としても、リゾートとしても、大きな価値をもたらすための大切な要素だったのです。



地域の伝統文化、自然環境を継承するための取り組み

畑プロジェクト

畑プロジェクトとは、竹富島特有の畑文化や農作物の継承を目的とした活動です。観光業が盛んになった現在、農業にまつわる歴史文化や島ならではの農作物の継承が難しくなっています。そこで2017年に施設内に畑をつくり、唯一の農業従事者である長老から教えを受けながら、伝統的な作物の栽培を開始しました。2年後には、収穫した粟を島の祭事「種子取祭」で奉納するに至ります。さらに子供たちとの畑作体験や、一度失われてしまった小浜大豆の復興などを通して、島の畑文化を次世代へ繋げるよう取り組んでいます。



詳細資料：「畑プロジェクト」の歩み

https://drive.google.com/file/d/1mGPQh7iPIydtYw_mOYmkoSc376Cpjng/view?usp=sharing

海水淡水化装置による水の自給

2021年に「海水淡水化熱源給湯ヒートポンプユニット」の運用を開始し海水から飲料水を自給しています。背景にはプラスチックフリーの一環として、飲料水入りペットボトルの提供廃止を決めたことがあります。この実現には、水資源量に制限がある竹富島においてペットボトルに代わる水の確保が課題でした。そこで施設への送水量を増やすことなく、持続可能な水の確保のために導入したのが本装置です。太陽光発電が一体化しているため災害時でも自立稼働し、施設内で水と湯、電力の自給が可能となりました。これにより星のや竹富島は竹富町内の民間企業で初の避難指定所に指定されました。



詳細資料：海水淡水化による飲料水の自給を開始します

[https://drive.google.com/file/d/1wFj5S2He23jcZQu8AePUFgFxrZVykzmv/view?usp=share link](https://drive.google.com/file/d/1wFj5S2He23jcZQu8AePUFgFxrZVykzmv/view?usp=share_link)

■星のや

「その瞬間の特等席へ。」をコンセプトに、施設ごとの独創的なテーマで、圧倒的非日常を提供する「星のや」。国内外に展開する各施設は、その土地の風土、歴史、文化などの本質を識る喜びを滞在に織り込み、訪れた人を日々の時間の流れから解き放ちます。

URL：<https://hoshinoresorts.com/ja/brands/hoshinoya/>

■星のや竹富島

竹富島の東に位置する琉球赤瓦の集落「星のや竹富島」。約2万坪の敷地には、島内の家々と同じように「竹富島景観形成マニュアル」に従い、伝統を尊重して建てた戸建の客室、白砂の路地、プール、見晴台などがあり、小さな集落が構成されています。



所在地：〒907-1101 沖縄県八重山郡竹富町竹富 1955

電話：050-3134-8091（星のや総合予約）

客室数：48室・チェックイン：15:00／チェックアウト：12:00

料金：1泊147,000円～（1室あたり、税・サービス料込、食事別）＊通常予約は2泊より

アクセス：石垣港よりフェリーで約10分 竹富港より送迎有

URL：<https://hoshinoresorts.com/ja/hotels/hoshinoyataketomijima/>

星野リゾート 広報 TEL 050-3537-2445 / E-mail pr-info@hoshinoresorts.com